

【取材調整可能・有識者(大学教員)のご紹介】

まだまだ続く台風シーズン！高まる河川氾濫/水害のリスク

今後の水害に対する「地域が行うべき対策」と「住民の心構えと行動」とは？

“大阪府寝屋川市”における先進的な「かわまちづくり計画」や、

台風・豪雨時の住民が実施すべき対策について解説

摂南大学 理工学部 都市環境工学科 石田裕子（イシダ ユウコ） 教授

摂南大学（大阪府寝屋川市、学長：荻田喜代一）では、9学部17学科にわたる専門分野を持つ教員への取材を受け付けております。今回は、**摂南大学 理工学部 都市環境工学科の石田裕子教授**を紹介します。

度々発生する台風の影響により、日本全国で河川の氾濫が起こり、それぞれの地域での復旧作業、住民避難等が相次いでいるかと存じます。

全国的に台風や豪雨時の河川氾濫や水害のリスクが注意喚起される中、寝屋川市では国土交通省が策定する「かわまちづくり計画」や、官民共同の寝屋川再生ワークショップなどに積極的に取り組んでいます。寝屋川市は、その河川名が市名にもなっていることから、市民から非常に親しまれており、市としても市民とともに自然環境への関心を高めていきたいという思いが強く、地域一帯で環境整備・防災啓発活動が盛んに行われています。

そのような、寝屋川市における先進的な取り組みや、今後新たに発生する台風や豪雨の際に、河川の近隣に暮らす住民が実施すべき正しい避難・救助の方法など、「**河川×災害**」に関する様々なお話が可能でございます。

ご取材希望の方は下記広報事務局までご連絡ください。

◆プロフィール

所属 : 理工学部 都市環境工学科
職位 : 教授
学位・資格 : 博士（工学）
研究分野 : 河川生態学、応用生態工学、河川工学、生態環境



石田 裕子 教授

◆お話しできること

- ・寝屋川市の先進的な「かわまちづくり」「河川整備」の取り組み
- ・官民共同で実施されている、水害対策の布教活動やワークショップ
- ・河川で溺れている人を発見した際の正しい助け方や対処方法
- ・台風や豪雨時における大規模河川と小規模河川の近隣住民がそれぞれ注意すべきこと

※できる限り調整をさせていただきますが、取材のタイミングによってはお受けできない可能性もある旨ご了承ください。

【報道関係者様のお問い合わせ先】

摂南大学広報事務局（アンティル内） 担当：佐藤、阿部、水原、藤井
TEL : 06-6225-7781 E-MAIL : setsunan_pr@vectorinc.co.jp